



## 2月の行事予定

1	土	手作り弁当(にじ組)
2	日	
3	月	豆まき 頭髪検査
4	火	
5	水	剣道(にじ:しろ組)
6	木	
7	金	
8	土	手作り弁当(にじ組)
9	日	
10	月	
11	火	建国記念の日(休園)
12	水	進級説明会(らいおん組) 剣道(にじ:しろ組)
13	木	体操教室(にじ組)
14	金	
15	土	手作り弁当(にじ組)
16	日	
17	月	絵本読み語り(にじ組)
18	火	身体計測
19	水	お茶会(にじ:しろ組)
20	木	ふれあいの部屋(きい組)
21	金	避難訓練・誕生会 ホットケーキパーティー
22	土	園開放(乳児園) 手作り弁当(にじ組)
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	みみょう文庫
26	水	剣道(にじ:しろ組)
27	木	ふれあいの部屋(あか組)
28	金	
29	土	手作り弁当(にじ組)

## 3月の行事予定

- 2日(月) ひなまつり会
- 21日(土) 第4回 卒園式
- 23日(月) 令和2年度 入園説明会

- 「ふれあいの部屋」の予定
- 3月 2日(月) ひよこ組
  - 11日(水) らいおん組
  - 12日(木) りす組



## 令和2年 2月の園だより



日出みみょう乳児園・幼児園

### あこがれが育てるもの

この冬は暖冬で、昼間は春を予感させるような日差しが窓から差し込んでいます。例年だと、子どもたちと空き容器にわくわくしながら水を張って帰り、翌日は表面にできる氷の不思議を発見したり、小さな雪だるま作りも一度くらいは経験できたのですが、このまま春がやってくるのでしょうか。インフルエンザは落ち着いているものの、新型肺炎も気になるところです。引き続き、体調の変化には留意していきたいと思います。

さて、先月行われた生活発表会では、それぞれの子どもの持ち味や年齢ごとの発達、はじけんばかりの元気いっぱいなど出ていて、とても楽しいひと時となりました。保護者の皆様もお子さんの成長を感じて感無量の様子でした。子どもたちは、「いっぱい拍手してもらった、笑ってくれる人がいた、とっても楽しかった」と、話していました。当日の頑張りはもちろんのこと、発表会までの活動を通して子どもたちは達成感を感じられたようです。またひとつ、ここから大きくなっていきますね。

園児数が増えて、会場が手狭な中での観覧となり、ご不便をおかけしたこともあったと思いますが、皆様のご協力のおかげで大きな行事を終えることができ、感謝しております。(※当日までの様子は園だより NO.2 をご覧ください。)

発表会が終わってからも、年中きい組さんの部屋からは、だんだん上手になっていく鍵盤ハーモニカの音が聞こえてきたり、また、公園に出掛けると、フープを飛んだり、腰にくるくる回す練習をしながら遊んでいるきい組さんたちの姿があります。聞いてみると、発表会でかっこよかった年長組さんみたいになりたいのだからか。

これが、保育園の良いところ。

やらせるのではなく、自分からやってみたいと思うことが力となるのです。

先日も、カプラ(積み木)が高く積み上げてあったところに、年中さんが更に高くしようと、椅子の上に上がって積もうとした時に、ガラガラ〜と、大きな音を立てて崩れてしまうという場面がありました。誰も驚かずに、年長さんがすぐに積み木を拾ってあげていました。何も言わないけれど、「もう一度やってごらん」という、メッセージが伝わってくるようでした。小さなクラスの子どもたちが年長組さんにあこがれるのがわかります。優しくてかっこいい。あんな風になりたいと思うはずですね。

そんな年長しろ組さんは、就学を控えて、ランドセルや机が届いたことを嬉しそうに教えてくれたり、先日は、小学校の交流会に行ったこともあり、勉強が始まることを楽しみにしているようです。最近、なぞなぞの本や、カルタを作って遊ぶブームの中で、字を書くことにも意欲満々なようです。友だちと一緒に覚えることは楽しいし、楽しいことはすべての意欲の始まりだと子どもたちの様子を見ていて思います。

年度末になり、どのクラスを覗いても、大きくなったなと感慨深くなります。ねんねだった赤ちゃんたちも自分の意思をしっかりと表現しています。進級進学に向けて、保護者の皆様の思いにも寄り添っていきたく思います。焦ることはありません。ありのまま認めてあげましょう。でも、不安なことなどありましたらいつでも話してくださいね。

もうすぐ豆まきです。思いおもいのお面を作っていて、それをかぶって鬼を退治するようですよ。「おには〜そと」と豆を投げて、子どもたちが元気いっぱい成長することを願っています。

園長

### 豆まき 3日(月)

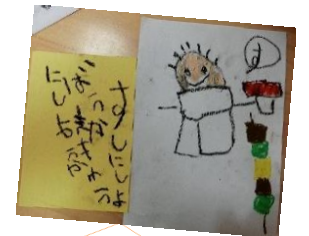
節分とは、もともと季節の変わり目の立春・立夏・立秋・立冬の前日のことを言います。暦の上では、春から新しい年が始まったため、いつの頃からか立春の前日だけが節分となり、春への折り目として3日ごろに行われています。神社や寺では、面を付けた鬼に向かって豆をまいて退散させる追儺や年男たちが豆をまくところもあります。豆には、穀物の霊が宿っていると考えられていたからです。

保育園でも豆まきをしますが、自分の心の中にある“ちょっぴり意地悪鬼”“泣き虫鬼”“怒りんぼ鬼”などを追い出して、元気な子どもに成長してくれることを願っています。

### お茶会(にじ:しろ組) 19日(水)

着物を着た職員が、お抹茶を点てたり、お運びをします。いつもとは違う雰囲気の中で、日本古来の文化に触れます。卒園まであと少し。さまざまな経験を重ねます。

しろ組さんの楽しい  
手作りかるたです。



す すしにしようか、  
パーベキューにしようか。

ち ちがでて、ないちゃった。



そ そうめん、おなか  
いっぱいいたいな。